
言の葉

鶴橋ユウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

言の葉

【コード】

N8912B

【作者名】

鶴橋ユウ

【あらすじ】

ふわりふわり…と舞い降りる言の葉。ソレが何を意味したのか…
私は知らなかった。

たった一つの言の葉は

ふわり ふわりと
舞い上がり

誰かの元へと
舞い降りる

ソレが
何を意味するのか

私は知らない…

『言の葉』

空気を揺らし
振動させる

形と為した言の葉が
ふわり

誰かに届けと

宙を舞う

ひとり

興味本位で受け入れる

ひとり

伝える為聞き入れた

ひとり

信じられないと拒絶する

ふわり ふわり

言の葉が宙を舞う

ストーンと

重みを増し

重力に従い

一人目掛けて突き刺さる

気付かずに
気付けずに

ふわり

残酷なほど
言の葉は止まらない

さくり

聞こえない

さくりさくり

もう 戻れない

ぼたり

ひとりが雫を流す

それは血か 涙か…

さくり

私の心に
一粒の雫が突き刺さる

気付かなかった
気付けなかった

洪水のように
降り注ぐ 刺の雨

ズキンズキン

ああ イタイ…

無意識に
言の葉に刺を乗せ
飛ばし続けていた

傷付けた
傷付けていた

無数の針が
心に刺さる

ぼたり…

音が近付く

ぼたり

全身の 刺と 血を

目に焼き付ける

雫が頬を伝う

さくり

ああ…

それすら赦されないのに

ごめんなさい

ゴメンナサイ…

機械のように

何度も何度も…

喉を震わせ

ぼつり…

言葉を零す

風に乗せ
想いよ届けと
祈りを込めて

ふわり

言の葉が宙を舞う

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8912b/>

言の葉

2010年11月21日14時29分発行